

2024. 9. 19

[Thu.] 15:00 - 17:00

テクノロジーを駆使した 神経変性疾患の研究



高齢社会の到来とともに、神経難病・認知症に罹患される方の数は増大しています。筋萎縮性側索硬化症 (amyotrophic lateral sclerosis: ALS) やアルツハイマー病など、これらの難治性神経疾患では、神経症状は進行性で、進行を完全に抑止し、疾患を消滅させる根治治療は未だ確立していません。2006年にマウスで、2007年にヒトで誕生した人工多能性幹細胞 (induced pluripotent stem cell: iPS細胞) とその作製技術は、基礎研究のみならず医療分野を含む幅広い分野に応用される基盤技術となっています。(CiRA websiteより)

本セミナーでは、これまで融合してきたテクノロジーとiPS細胞による神経疾患研究と現在の取り組みについてお話しさせていただきます。

講演者：

井上 治久 副所長・教授
(京都大学 iPS 細胞研究所)

会場：

東北大学学際科学フロンティア研究所
& オンライン (1F セミナー室)

主催：東北大学 学際科学フロンティア研究所

Organizer：

奥村正樹 准教授 (okmasaki@tohoku.ac.jp)

オンライン参加 Zoom URL

オンライン参加について
事前登録は不要です。
開催時間にご入室下さい。

ミーティングID: 829 6460 9667
パスコード: v65Y41

